名　　称	デ　　ー　　タ
総合スポーツランド管生〔② 宮城県柴田郡，③ 100%完成（昭和 50 年 2 月 1 日現在)〕	事業実施箇所：宮城県柴田郡村田町　事業主体：(株) ヤマハ発動機　工事期間：昭和 48 年 10 月～49 年 5 月　事業予算：50 億円（うち，土地取得等 6 億円，ホテル等 4 億円 (25 室)，造成・舗装・クラブハウス等 40 億円)　本社：静岡県磐田市　施工業者名：飛島建設
御殿場ファミリーランド〔② 静岡県御殿場市，③ 100% 完成（昭和 51 年 2 月 1 日現在)〕	事業実施箇所：静岡県御殿場市　事業主体：(株) 小田急電鉄　工事期間：昭和 48 年 7 月～49 年 11 月　事業予算：40 億円（うち，造成費 10 億円，建設費 30 億円，土地は 37～38 年に購入済)　本社：東京　施工業者名：小田急建設
ニューライフクラブ中伊豆〔② 静岡県修善寺町，③ 100% 完成（昭和 51 年 2 月 1 日現在)〕	事業実施箇所：静岡県修善寺町　事業主体：大京観光（株)　工事期間：昭和 48 年 11 月～50 年 7 月　事業予算：20 億 3900 万円（うち，用地 1 億 5000 万円，建物 18 億 1200 万円，テニス 1700 万円，プール 4300 万円，付帯什器備品 700 万円，開業費 700 万円)　施工業者名：大成建設
シャトーテル赤根崎〔② 静岡県熱海市，③ 100% 完成(昭和 51 年 2 月 1 日現在)〕	事業実施箇所：静岡県熱海市　事業主体：黒川建設（株)　工事期間：昭和 48 年 12 月～50 年 7 月　事業予算：100 億円

工　　場

昭和 50 年末に政府が発表した経済見通しによると，50 年度の民間設備投資の実績見込みは 20 兆 8000 億円（事業費ベース）と前年度に比し 8.9% の大幅な減少となり，高度成長期に見られた活発な設備投資は陰をひそめている．これは，資金調達面の困難さから一部工事が繰り延べられたことによるほか，年度後半の予想を超える急速な景気の冷え込みから工事を見合わせた企業が少なからずあったことによるものと思われ，民間企業に広がっている不況感は予想以上に大きいことがわかる．

業種別に投資動向をみると，先行き供給不足が懸念されている電力，鉄鋼，都市ガス等，公害防止関連投資を中心に伸びがみられる石油精製，化学等の基礎産業が根強い投資意欲を示し増加額の大半を占めている．これに対し，需給ギャップの拡大している非鉄金属，電子・電気機械，自動車，セメント，紙・パルプ，合成繊維の伸びは前年に比し減少となっており，業種間に著しい格差が現われてきている．

名　　称	デ　　ー　　タ
石川島播磨重工業（株）相生工場第一建造ドック工事〔② 兵庫県相生市，③ 100% 完成（昭和 50 年 6 月現在)	事業実施箇所：兵庫県相生市相生　事業主体：石川島播磨重工業（株)　工事期間：昭和 48 年 6 月～50 年 5 月　事業予算：35 億円　ドック規模：長さ 285 m×幅 60 m×深さ 12.2 m　埋立て工：−4.5～−8 m 岸壁 1036.6 m，埋立て土量 29 万 7000 m³　水中コンクリート：2 万 9080 m³　施工業者名：鹿島建設／大木組 JV
東京瓦斯（株）根岸工場 70 N-11 T-1，T-2 LNG 地下タンク工事〔② 横浜市磯子区，③ 35% 完成（昭和 50 年 12 月 30 日現在)〕	事業実施箇所：横浜市磯子区新磯子町　事業主体：東京瓦斯（株)　工事期間：昭和 50 年 4 月～53 年 3 月　事業予算：33 億 7000 万円（土木分)　LNG 地下タンク：2 基（9 万 5000 kl×2 基)，内径 64 m　工事数量（2 基分)：コンクリート 3 万 1266 m³，鉄筋 1800 t，鋼管杭・鋼管矢板 148 本，鋼矢板 1463 枚，セグメント 1392 枚，掘削 20 万 6900 m³　施工業者名：鹿島建設・石川島播磨重工業
東京瓦斯（株）袖ケ浦工場 LNG 地下タンク建設工事〔① 袖ケ浦地下タンク，② 千葉県君津郡袖ケ浦町，③ 95% 完成（昭和 50 年 12 月 31 日現在)〕	事業実施箇所：千葉県君津郡袖ケ浦町中袖　事業主体：東京瓦斯（株)　工事期間：昭和 49 年 2 月 1 日～51 年 12 月 31 日　事業予算：総予算 160 億円（うち，土木工事費 80 億円)　LNG 地下タンク：5 基（容量 6 万 KI×5 基)　LNG 地下タンク概形寸法：直径 60 m×深さ 18.7 m（うち，地下部 11.7 m)　一基あたり数量：連続地中壁／壁厚 0.80 m×深さ 30.0 m　6340 m²，内部掘削／6 万 2600 m³，コンクリート／3 万 1640 m³，鉄筋／3640 t　施工業者名：(土木工事) 清水建設・(プラント工事) 石川島播磨重工業
新日本製鐵（株）大分製鐵所第 2 高炉建設工事(スラブヤード VI 期，厚板スラブヤード，厚板加熱炉，連鋳水処理設備ほか建設工事)〔② 大分県大分市 ③ 95% 完成（昭和 50 年 12 月 31 日現在)〕	事業実施箇所：大分県大分市大字西ノ洲 1 番地　事業主体：新日本製鐵(株)　工事期間：昭和 48 年 11 月～51 年 3 月　事業予算：31 億円　SP 600 φ 杭：5 万 6139 m（支給品)　SP，RC 400 φ 杭：l=7 m～12 m，4420 本（支給品)　型枠：14 万 8100 m²　コンクリート：7 万 9430 m³（支給品)　鉄筋：5530 t（支給品)　鉄骨建方：8750 t（支給品)　施工業者名：清水建設
伊勢湾シーバース海底配管敷設工事のうち浚渫埋戻し工事〔① 伊勢湾シーバース浚渫埋戻し工事，② 愛知県知多市南部第 4 区地先，③ 100% 完成（昭和 50 年 11 月 30 日現在)〕	事業実施箇所：愛知県知多市南部第 4 区沖合 10 km　事業主体：出光興産（株)・東亜共石（株)　工事期間：昭和 48 年 10 月 10 日～50 年 8 月 31 日　事業予算：15 億 2000 万円　工事延長：出光興産 φ 1320 mm (52^{B})・東亜共石 φ 1422 mm (56^{B})，各 9320 m　砂埋戻し水深：NP−14～−26 m　埋戻し土かぶり：管天端より 3～3.4 m　浚渫土量：67 万 1000 m³　砂埋戻し量：63 万 m³　栗石埋戻し量：4 万 1000 m³　施工業者名：五洋建設
日本石油精製（株）新下松製油所原油桟橋建設工事〔① 原油桟橋建設工事，② 山口県下松市，③ 100% 完成（昭和 50 年 8 月 31 日現在)〕	事業実施箇所：山口県下松市東海岸通り 1 番地　事業主体：日本石油精製（株)　工事期間：昭和 49 年 8 月 23 日～50 年 8 月 31 日　事業予算：9 億円，ただし支給材（鋼管杭・ゴム防舷材）は別途　対象船舶：17.8 万～3.3 万 D.W.T. タンカー　計画水深：−20 m　形式：ドルフィン式桟橋　構造：基礎／鋼管杭，上部／SRC および RC 構造　構成：荷役桟橋／1 基，主接岸ドルフィン／2 基，副接岸ドルフィン／2 基，綱取りドルフィン／4 基　施工業者名：大成建設

概　　要　・　特　　色
合歓の里，つま恋に次ぐレジャーランドでモーターサイクルを中心にしたスポーツゾーン，冒険ジャルダンと命名された自然ゾーンの2区域に分かれ，総敷地面積は 210 万 m² である．管生自体はパブリックであるが，モーターサイクル普及の意図をもって会員制クラブも設置されている．スポーツゾーンは本格派のコースが多種多様に配置され，若者に人気がある．自然ゾーンは家族中心で地獄谷や猿の腰かけなどユニークで楽しい遊び場が各所にあり，電柱 250 本なども資材として活用されたそうである．
対象地は御殿場 I. C から車で3分という好立地で，総面積は 33 万 m² である．ただ鉄道利用の場合の不便は否めない．基本構想から設計段階まで外部の専門家を招かず，社員のみでプラン作りを進めたという．ハードウェアよりもソフトウェアに力点を置いたためである．その結果独自のノウハウが「いこいの国」などに顕著にみられる．その他には「乗物の国」，「スポーツの国」があり，それらをすみやかに結ぶため，まず動線計画から着手された．初年度の目標入込みは 80 万人で，これまでのところ順調である．
会員制レジャークラブ，ニューライフクラブの専属施設として開発したもので，総敷地面積2万3000 万 m² である．呼びものは陸上競技場で他の施設としてはホテル，レストラン，プール，テニスコート，研修室，トレーニングルーム，温泉浴場，ミニゴルフ場などがある．初年度の収入は宿泊で1億3000 万円，飲食で8000 万円，付帯施設で 200 万円を見込んでいる．当クラブはこのほかに専用施設として妙高，那須，麹町，提携施設として白馬，那覇，白河，妙高，赤倉にホテルやゴルフ場，スキー場などのネットをもっている．
コンドミニマムとしては国内で最大規模である．総敷地面積3万1000 m² 建築面積 500 万 m²，延床面積3万2000 m² 客室数 546 室のうち分譲予定は 226 室で 50 年 9 月現在 176 室が契約済となり，投下資本の6割をすでに回収している．室内プール，アスレテッククラブ，サウナ，ボウリング，アーチェリー，レストラン，陶芸教室など付帯したレジャー施設にも力を入れている．黒川建設の経営多角化の第一歩として設置されたシャトーレクリエーションクラブの専用宿泊施設は，これで塩沢，山中湖，大阪大手前と併せて計 173 室を数える．

設備投資が増加基調にある企業にあっても，新規事業への投資は激減し，継続ないし補修工事に重点を置いているところがほとんどで，また，従来の生産能力増強のための投資割合が低下する一方，企業合理化投資のウェイトが上昇し，さらに公害規制強化の動きを反映して公害防止，環境整備関連の投資の比率が一段と高まっている．これらのほか，石油・LNG等資源備蓄関連の伸び，安全対策関連の投資が伸びていることも注目される．

50 年度の地域別投資動向をみると，東京，大阪，名古屋の三大都市圏内での投資は沈滞気味で，一方，九州，東北，北海道，中国の各地区は，鉄鋼，電力，石油精製，化学などの投資増勢の業種をいくつか抱えており，投資増加の傾向がみられる．

つぎに，51 年度の民間設備投資動向については，政府見通しによると，50 年度のマイナスからプラスに転じると予測されているが，伸び率は 7% 程度で 48 年度水準にしかならず，実質では 2 % そこそこと 45 年度から 46 年度水準にとどまるものと思われる．いずれにしても，今後の民間企業の景気動向は，アメリカ合衆国の景気回復に伴って一部業種で回復の見込みがあるものの，国内需要の回復が鈍いため総じて不況感は抜けきれず，設備投資は 51 年度末から 52 年度にかけて動き始めるものと予想され，ここしばらくの間は新規大型設備投資は，政府施策に沿うもの，緊急を要するものなど特定の業種，分野に絞られるものとみられる．

概　　要　・　特　　色
本工事は，石川島播磨重工業相生工場内の既設の第一船台，組立工場等を解体撤去して建造ドックを新設する工事であり，鹿島建設は設計も担当した．本工事においては，渠口部 50 m 区間の底版（厚さ 9 m，1 万 9800 m³）をはじめとして約 3 万 m³ の大量のコンクリートを，鹿島建設で独自に開発した二重トレミー管を使用して水中コンクリート工法により合理的かつ効率的に打設し，工期の短縮を図ったことに，本工事の特徴がある．
本工事は，クリーンエネルギーとして注目されている LNG の供給基地として東京瓦斯（株）が建設中の根岸工場に LNG 用地下タンクを築造する工事である．本体構築は内側にメンブレン，保冷材を張ったセグメントを使用し，ベノト工法・アースドリル工法等により建込んだ鋼管杭に側壁コンクリート重量を支持させる杭打逆巻工法で施工している．また底部は，底版下の水を揚水して底版に働く水圧・凍結圧を防止する揚水式を採用しており，地上部は本体カバーのため約 6 m の盛土を行う．
本工事は東京瓦斯（株）が，海外から導入する LNG の受入基地として京葉臨海工業地帯の南部袖ケ浦町に増設中の LNG 貯蔵設備工事である．現地は埋立後間もないので地盤改良し，地下部分は連続地中壁（SSS 工法）で遮水壁および本体側壁を施工し，内部はコンクリートセグメントを取り付け，中詰コンクリートを逆打ち工法で打設している．底部は揚圧力対策として膨大なコンクリートを打設する．地上部はセグメントを積み上げ裏打ちコンクリートを打設し，タンクまわりに盛土を行う大型土木工事である．
本工事は新日鐵（株）大分製鐵所の第2高炉建設工事に関連する諸設備を建設するものである．敷地は大分県の新産業都市計画により埋め立てられた3号埋立地で軟弱層厚 10 m，支持層まで 45～70 m という地質である． 構造は杭基礎が大部分で水処理設備の下部は流動化の恐れもあり，5 m 厚の土砂置換工法を採用している．工事全体にわたり公害対策に対する注意と資金が十分に費やされており，将来の工場施設建設の指針を示しているものと思われる．
本シーバースは伊勢湾のほぼ中央に 20 万トンタンカー2隻が同時に着桟できるもので，シーバースとしては世界最大といわれている．シーバースから陸上までの間 9300 m の海底管は 52^B および 56^B の2連結され，管敷設後の安定性，および航行船舶の投錨等による安全性の見地から土かぶりを3 m 以上保って埋設されている．高深度（平均 NP−23 m）におけるパイプラインの浚渫および砂埋戻しについてはパイプを敷設してからユニット浚渫によりパイプを掘り下げていく方法で埋戻しは海洋汚濁および自然条件（気象海象）を考慮してトレミー船（ポンプ船改造）にて施工したのが特色といえよう．
当桟橋は，新下松製油所の原油受入用桟橋として建設された．接岸ドルフィンは可撓式鋼管杭構造であり，大径鋼管杭（φ1700）を使用している． 荷役桟橋，接岸ドルフィン，綱取りドルフィンの上部工は SRC および RC 構造である．極力プレハブ化して大型クレーン船にてすえ付け，海上作業の短縮を図った．

名　　称	データ
日本セメント香春工場能力増強土木・建築工事（第2工区）〔② 福岡県田川郡，② 100% 完成（昭和 50 年 4 月 30 日現在）〕	事業実施箇所：福岡県田川郡香春町日本セメント香春工場　事業主体：日本セメント（株）　工事期間：昭和 48 年 9 月 15 日～50 年 4 月 30 日　事業予算：7 億 2000 万円　トンネル：B. C／A=12 m²・l=245 m，駆動部／A=70 m²・l=55 m，抽出部 A=45 m²・l=30 m　立坑：貯鉱坑／A=28 m²・l=85 m，巡回坑／A=4 m²・l=85 m　破砕室：RC 12F 基礎深礎RCおよびPC杭　施工業者名：前田建設工業
幌萠地区貯油設備 LPG 球形タンク基礎設計施工工事〔② 室蘭市，③ 100% 完成（土木）（昭和 50 年 12 月 20 日現在）〕	事業実施箇所：室蘭市幌萠町 172　事業主体：日本石油精製（株）　工事期間：昭和 49 年 8 月 8 日～51 年 1 月 20 日　事業予算：5 億円（うち，土木 1 億円）　基礎杭：PC杭 φ500 l≒12 m 88 本，φ500 l=24 m 88 本　コンクリート：807 m³　型枠：1 407 m²　鉄筋：103 t　アンカーボルト：φ38 mm 48 本　ヒューム管：φ600 l=90 m　U 字溝：360 B 235 個　施工業者名：前田建設工業
日本鋼管（株）京浜製鉄所第 1 期工事扇島製鋼連鋳工場土木建築工事（第 2 工区）〔① 扇島製鋼工場，② 神奈川県川崎市，③ 45% 完成（昭和 50 年 12 月 25 日現在）〕	事業実施箇所：川崎市川崎区扇島　事業主体：日本鋼管（株）　工事期間：昭和 49 年 11 月 30 日～51 年 8 月 31 日　事業予算：33 億 2000 万円〔（土木・建築工事，支給品別，うち土木関係 10 億 5000 万円（支給品別）〕　工場規模：226×129.5 m 軒高 35.8 m　主要数量：鋼管杭／φ500 l≒40 m 396 本（支給品），鋼管杭／φ600 l≒40 m 738 本（支給品），PC杭／φ500 l≒38 m 2530 本（支給品），コンクリート／4 万 950 m³（支給品），鉄筋／2 200 t（支給品）　施工業者名：間組
宇部興産（株）伊佐セメント仕上げ設備工事〔② 山口県美称市伊佐町，③ 100% 完成（昭和 50 年 6 月 30 日現在）〕	事業実施箇所：山口県美称市伊佐町　事業主体：宇部興産（株）　工事期間：昭和 49 年 6 月 1 日～50 年 6 月 30 日　事業予算：総事業費約 37 億円（ただし，機械設備費は除く）のうち約 4 億円　建物：SRC 造 4F 1 棟，敷地面積 7 000 m²，建築面積 790 m²，軒高 29.5 m　セメントサイロ：容量 1 万トン 1 基，内径 22.1 m，高さ 29.3 m，壁厚 0.45 m　施工業者名：間組
大和工業（株）ユニバーサル圧延設備工事〔② 兵庫県姫路市，③ 100% 完成（昭和 50 年 8 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：姫路市大津区吉美 380　事業主体：大和工業（株）　工事期間：昭和 49 年 5 月 1 日～50 年 8 月 31 日　事業予算：11 億 7000 万円　新設工場：幅 32 m×長さ 350 m　主要数量：PC杭／φ400～600 l=10 m 981 本，鉄筋／726 t，コンクリート／1 万 5150 m³，鉄骨／1 694 t，掘削／3 万 3200 m³　施工業者名：間組
大阪瓦斯（株）泉北第二工場 7 万 5000 kl LNG 地上タンク防液堤工事〔② 大阪府高石市，③ 30% 完成（昭和 51 年 1 月 1 日現在）〕	事業実施箇所：大阪府高石市高砂地先　事業主体：大阪瓦斯（株）　工事期間：昭和 50 年 3 月 20 日～51 年 12 月 25 日　事業予算：12 億 5000 万円　主要数量：鋼管杭／φ60.6 l=31.5 m 1 104 本，コンクリート／4 万 1500 m³，鉄筋／3 162 t，型枠／7 万 6479 m²　施工業者名：大林組

災害復旧

昭和 50 年は，昨年に続き大災害の年となった．12 月 15 日までの被害報告額は，三所管省併せて 6 674 億円を超えており，これは見かけ上過去最大である．内訳をみると，建設省所管分（河川，海岸砂防，道路，都市施設等）10 万 1 000 件余，約 4 818 億円，農林省所管分（農地，農業施設，治山，林道，海岸，漁港等）12 万 2 000 件余，約 1 791 億円，運輸省所管分 300 件余，約 65 億円となっている．

建設省所管施設について災害発生の経過をみると，1 月，2 月は例年なみに過ぎ，3 月，4 月の融雪災害等も例年より若干多い程度であったが，5 月の豪雨により 5 月，6 月は，過去 5 か年の最大となった．7 月には，47 年 49 年に比べ災害の発生は少なかったが，8 月に至り，前線性豪雨および台風 5 号，6 号の来襲により 8 月末累計が約 4 000 億円と，昭和 47 年の 3 600 億円余を大きく上回った．その後も小災害が続き 12 月までに上述のような結果となったのである．

今年の災害の主なものをあげると，連続して来襲した台風 5 号，6 号によるものが最大の被害をもたらした．台風 5 号は，8 月 17，18 日に四国西部および山口県を襲って，高知県

名　　称	データ
石狩川下流災害復旧工事〔② 札幌市ほか 25 市町村，③ 16% 完成（昭和 50 年 12 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：札幌市，恵庭市，千歳市，江別市，三笠市，岩見沢市，美唄市，砂川市，赤平市，深川市，石狩郡，空知郡，札幌郡，夕張郡，樺戸郡，雨竜郡　事業主体：北海道開発局　工事期間：昭和 50 年 8 月 28 日～51 年 3 月 31 日　事業予算：57 億 3000 万円　計画高水流量：9 000 m³/sec（石狩大橋）　洪水流量：8 600 m³/sec（氾濫戻し後）　工事箇所数：81 か所　施工業者名：伊藤／大成 JV・清水／堀松／不動 JV・鹿島／新大平洋／日成 JV
最上川中流（鮭川，真室川）災害復旧工事〔② 山形県最上郡，③ 45% 完成（昭和 50 年 12 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：山形県最上郡真室川町・鮭川村・戸沢村　事業主体：建設省東北地方建設局　工事期間：昭和 50 年 8 月 7 日～51 年 3 月 31 日　事業予算：7 億 7000 万円　計画高水流量：2 600 m³/sec（真木）流量改定予定　洪水流量：3 100 m³/sec　工事箇所数：28 か所　施工業者名：新庄建設・柿崎工務所・沼田建設
仁淀川災害復旧工事〔② 高知県土佐市・吾川郡，③ 16% 完成（昭和 50 年 12 月 31 日現在）〕	事業実施箇所：土佐市・春野町・伊野町　事業主体：建設省四国地方建設局　工事期間：昭和 50 年 8 月 18 日～51 年 3 月 31 日　事業予算：9 億 9000 万円　工事箇所数：28 か所　計画高水流量：1 万 2 000 m³/sec（伊野）　洪水流量：1 万 4 000 m³/sec（伊野）　施工業者名：関西土木・香長建設・須崎工業
浦幌川災害復旧助成事業〔① 浦幌川助成事業，③ 北海道十勝郡，③ 未定〕	事業実施箇所：北海道十勝郡浦幌町　事業主体：北海道　工事期間：昭和 50 年 10 月 1 日～54 年 3 月 31 日　事業予算：74 億 3000 万円　施行延長：15.5 km　計画高水流量（比流量）：850 m³/sec（2.9 m³/sec/km²）　掘削工：203 万 7 000 m³　護岸工：34 万 4 000 m²　橋梁工：8 橋　施工業者名：未定